

## ◆連携シート「むすびの和」普及事業

### ○「医療連携勉強会」に参加して

浅口介護支援専門員連絡協議会

池之上 章

「医療連携勉強会」を去る六月三十日、浅口市健康福祉センターに於いて開催しました。

今回の勉強会は、浅口医師会が岡山プライマリ・ケア学会より「連携シート むすびの和」創

出事業の受託を受けて、浅口介護支援専門員連絡協議会が協力し企画されました。

勉強会には、浅口市・浅口郡里庄町内より、医師・介護支援専門員・医療ソーシャルワーカー・介護保険サービス提供者等、六十六名が参加されました。私共の予想を超える参加人数で、医療連携に対する関心の高さが伺えました。

講師には、NPO法人総合ケアシーザル理事長の宮原伸二氏、同法人の居宅介護支援事業所管理者の賀来貴子氏をお招きしました。

宮原先生からは、「むすびの和」の概要、各記載項目に込められた意味、ICFの考え方を解りやすく丁寧に説明頂きました。

賀来氏からは、「むすびの和」を実務で使用した経験を基に記載方法に関する留意点を説明して頂き、実際の実務に於いての活用方法がイメージでき大変参考になりました。



勉強会に参加した方々からは、「このシートが活用されると本当に他職種との連携が可能になる。」（医師）・「まず、退院時に活用してみよう。」（ケアマネ）・「連携シートの使い方が良く解った。」（ケアマネ）・「ここ最近、医療連携・医療連携と言われているが、色々なシートがありどれを使用しているのか迷っていた。今回の勉強会が良いきっかけとなった。」（ケアマネ）・「入院時に早速、担当ケアマネが連携シートを持ってきてくれ入院前の在宅での状況がよく把握できた。」（MSW）と大変向きの感想が聞かれ医療・保険・福祉の連携の大きな第一歩になればと思っています。